



「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員

須佐まもる

<総務経済常任委員会>

エンゼル別荘
地の餅つき大
会にて。腰が：



最新の情報は
こちらから



イソブキ便り！ No.29 令和 5年 3月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで！ http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm

災害ボランティア
本部の立ち上げ訓練

12月4日の地域防災の日、静岡県内全域で防災訓練が行われ、東伊豆町でも各区が自主防災を展開する中で、今回、新たな取り組みとして災ボラ本部の立ち上げ訓練が実施されました。コーディネーターが本部の係役を務め、受付からニーズの把握、災害現場とボランティアのマッチング、資器材の貸し出しと送り出しを担当し、各区から選ばれた役員をボランティア役として迎え、受け入れ時の動きを確認しました。



オリエンテーションの様子。注意事項などが説明され、町内の災害状況から支援の要望をまとめた「ニーズ」をもとに、ボランティアに作業を振り分けます。

駿東伊豆消防
はしご車を納入

現在、駿東伊豆消防組合議員としての重責を担っておりませんが、東伊豆消防署にはしご付き消防自動車(はしご車)が新たに配備され、記念式典に来賓として出席しました。これは、本年度の車両整備事業に伴うもので、町の念願が叶いました。こちらのはしご車には800ℓの水槽が備え付けてあり、近くに水源がなくても迅速に消火活動が行えるようになっています。町内にも中高層の宿泊施設が多くあり、万一の際にはその役割を果たしてくれらるものと思います。またこれははしご車の特徴として車体がコンパクトで機動性がよく、狭い温泉場や別荘地などでも活躍してもらえらると思います。(12/12)



この日は訓練が披露され、消火活動と人命救助の流れを見学することができました。ちなみに、令和3年の町内の建物火災は7件で、3年に比べ2件減りました。

現在、駿東伊豆消防組合議員としての重責を担っておりませんが、東伊豆消防署にはしご付き消防自動車(はしご車)が新たに配備され、記念式典に来賓として出席しました。これは、本年度の車両整備事業に伴うもので、町の念願が叶いました。こちらのはしご車には800ℓの水槽が備え付けてあり、近くに水源がなくても迅速に消火活動が行えるようになっています。町内にも中高層の宿泊施設が多くあり、万一の際にはその役割を果たしてくれらるものと思います。またこれははしご車の特徴として車体がコンパクトで機動性がよく、狭い温泉場や別荘地などでも活躍してもらえらると思います。(12/12)

「町長と語る会」

12月定例会を終えて、岩井町長は町内各地区を回り「町長と語る会」を開催しました。その中で町長は、客観的に見た東伊豆町の現状から、近未来のビジョンを訴えています。

私は熱川地区の4地区、片瀬・白田、奈良本、北川の語る会に参加し、町民の声を傾けました。各地区で町長への期待の高さがうかがわれました。

その他、奈良本地区、北川地区では労働力不足の問題に話が及び、町長は人材のシエラについて、「特定地域づくり事業協同組合」の検討を急ぐと話し、私が12月定例会で質問したことが、前向きに検討されていることがわかりました。



片瀬・白田で関心が高いことからは、やはり白田川橋の架け替え問題です。特に国の危険度判定から「撤去相当」とされ、急に通行止めになったことで地元住民は戸惑っています

また、入湯税の値上げや学校統合、稲取高校の存続問題について質問があり、町民の教育問題への関心の高さが伺えます。皆さんの前向きな、町に激震が走るような提案をお待ちしています。

廃棄物循環事業
実証実験

昨年、総務経済常任委員会の後継者問題の聞き取り調査で、農業者の方たちから原材料の高騰に伴い、飼料・肥料の高騰にも懸念があるとの意見がありました。それを受けてか、町では12月議会の補正予算で「ごみ堆肥化実証実験委託料」178万5千円を計上してきました。

この実証実験は、食品残渣を焼却処分せずに機械にかけて堆肥化する取り組みで、サステナブルの観点から結構いろいろな自治体で取り組みが進んでいます。町の有志が取り組んでいる実証実験の様子を見学させてもらいました。

食品残渣については、旅館で出た食べ残しや調理場

の食材くず、魚のアラ、バイキングの残り、給食の残飯などを実験の素材とし行われました。今後の調査結果に関心が寄せられます。

(1/27)



SDGsに絡む事業にどう自治体が支援をするのか。ごみの減量にも関係することですので、今後、議会側も関心の高い取り組みになっていきます。

第30回 東伊豆町 河津町議員交流会

東伊豆町と河津町議会による議員交流会が1月30日に開かれました。3年ぶりの開催です。今回は河津町が幹事で、来月の19日に開通する伊豆縦貫道河津七滝IC(逆川IC間)3Kmの進捗状況を現場で見学しました。

完成によって、行楽期の観光による交通渋滞の緩和と、防災の観点からは災害に強い道として緊急輸送道路としての役割があります。

また、伊豆半島南部から第3次医療施設である順天堂大学附属病院までの搬送時間が短縮し、救命率の向上が見込まれます。

この日は河津七滝ICから議員が歩いてトンネル付近まで行き、国交省沼津河川国道事務所の建設専門官石橋澄一さんから詳しい状況を伺いました。計画では法定速度60kmで計画されているとのこと。



全線開通にむけて両町が協働で陳情・要望などに取り組んでいくことの重要性を確認しました。一方で、開通による「通過点問題」もあり、慎重な議論が必要です。

町長に政策制度要請

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合静岡は岩井町長に対し政策制度要請をしました。

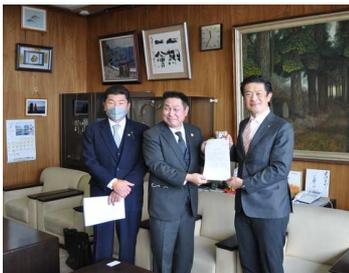
静岡労働局が発表した1月の静岡県内の有効求人倍率は1.31倍となり、雇

用環境は着実に改善傾向にあります。新型コロナの感染者が第8波で大きく増え、エッセンシャルワーカーに対する負担が増加し続けている状況です。

今後の新型コロナウイルスの感染状況が見通せないことや、燃料や原材料費の高騰が長期化し、物価上昇に伴う支出増など社会を取り巻く環境は依然として不透明で、とりわけパートやアルバイト派遣社員といった弱い立場の労働者が安定的な就職につけない状況が続くと予想されます。

連合静岡では昨年12月、川勝知事に対し要請を行い、東伊豆町においても静岡県と連携を強化しながら、低所得者の皆さんへの支援の加速化を要求しました。

(2/7)



岩井町長は一つ一つの要請に対し丁寧に答え、解決策を共に求めていく姿勢を見せてくれました。

ザ! ココロザン コらい!

ゲートキーパーの研修会

ゲートキーパーとは、悩みを抱えている人に寄り添い、声をかけ、必要な支援へつないでいく人のことで、近年自殺対策の一環としても注目されています。

私は、ちょうど10年前に西伊豆町で開かれた研修会に参加していて、2回目の参加です。今回は若手の町職員の中に入り研修を受けました。ちなみにゲートキーパーは「いのちの門番」の意味を持ちます。

自殺者が3万人を超えたのがちょうどリーマンショックのころで、高止まったまま推移してきました。行政の経済的支援やこのようなゲートキーパーの取り組みによって近年減る傾向にありましたが、コロナウイルスの感染拡大で女性の自殺者が増える傾向にあります。

ゼロゼロ融資の返済が始まりました。特に自殺者が多い傾向にある東伊豆町は、未然に防ぐための対策を整えるべきと感じました。

こころの健康度自己評価票

この2週間のあなたに当てはまる方を選んでください

1	毎日の生活に充実感がない	はい	いいえ
2	これまで楽しんでやれていたことが、楽しめなくなった	はい	いいえ
3	以前は楽に出来ていたことが、今ではおっくうに感じられる	はい	いいえ
4	自分が役に立つ人間だと思えない	はい	いいえ
5	わけもなく疲れたような感じがする	はい	いいえ
6	死について何度も考えることがある	はい	いいえ
7	気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある	はい	いいえ
8	最近(ここ2週間)ひどく困ったことやつらいと思ったことがある	はい	いいえ

※6の死は「自殺に結びつくような死」を意味します。
※8は内容により判断 (配偶者や家族の死、親類や知人の自殺、交通事故などの死)

「はい」が 1~5の項目で 2つ以上 6~7の項目で 1つ以上 8に該当した場合 → いずれか該当すれば 専門家(医師・保健師等)への相談を勧めます

※本票は、厚生労働省健康増進局健康増進部健康増進課(旧健康増進課)が、厚生労働省健康増進局健康増進部健康増進課(旧健康増進課)の委託を受けて作成されたものです。印刷費、平成14年14年)

皆さまからのご意見をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。後援会員募集中です！
一生懸命地域のために頑張ります。今後ともよろしく願いいたします！